

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'25GGAシリーズ(TCF9C10・9C20・9C30 系)用

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

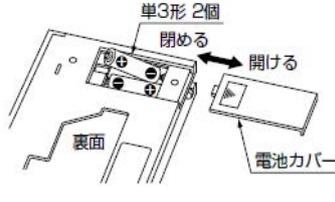
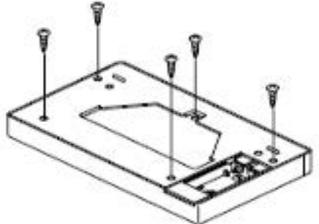
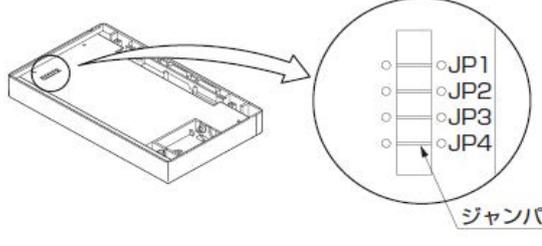
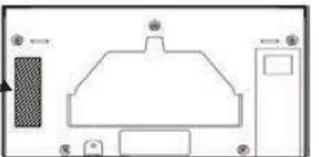
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

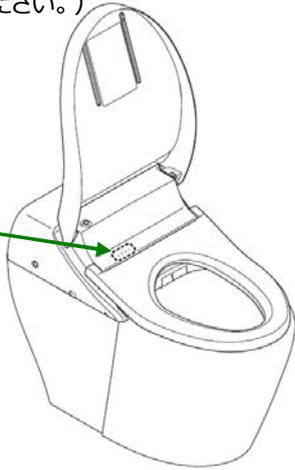
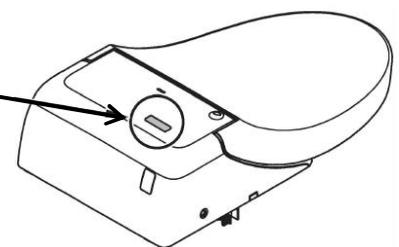
2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(特 1) タ イ プ 1	(特 2) タ イ プ 2	正 規 品	(特 1) タ イ プ 1	(特 2) タ イ プ 2
(特 3) タ イ プ 3	(特 4) タ イ プ 4	(特 5) タ イ プ 5	(特 3) タ イ プ 3	(特 4) タ イ プ 4	(特 5) タ イ プ 5

* 設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOMメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
 * 作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法 (リモコン側)																																																												
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>乾電池のはずしかた</p>  <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>リモコンの完全放電</p>  <p>水勢ランプが消えるまで、『水勢+』または『水勢-』ボタンを何度か押す。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>③『おしり洗浄』ボタンを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。</p> <p>ご注意!! 残留電荷により、水勢ランプが点灯することがあります。 水勢ランプが点灯したまま作業を進めると、特殊コードが切り替わりません。</p> </div> </div>																																																												
2	 <p>リモコン裏面のねじ 5 本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																												
3	 <p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断する。</p> <p>ご注意!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパー線</td> <td>JP1</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：接続 切：切断</p> <p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパー線	JP1	○	切	○	切	○	切	○	切	○	切		JP2	○	○	切	切	○	○	切	切	○	○		JP3	○	○	○	○	切	切	切	切	○	○		JP4	○	○	○	○	○	○	○	○	切	切
コード		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																		
ジャンパー線	JP1	○	切	○	切	○	切	○	切	○	切																																																		
	JP2	○	○	切	切	○	○	切	切	○	○																																																		
	JP3	○	○	○	○	切	切	切	切	○	○																																																		
	JP4	○	○	○	○	○	○	○	○	切	切																																																		
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																												
5	<p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>  <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																												

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（ウォシュレット本体側）																																												
6	ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込む。 （ノズルがイニシャル動作（伸縮）する。） ◆設定中の製品以外は電源を投入しないこと。																																												
7	ウォシュレット本体のイニシャル動作終了後（電源が「入」になってから2分以内に）、リモコンの『止』ボタンを「10秒以内に5回」押す。																																												
8	ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅します。 （電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。） <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 本体表示部 </div> <div style="margin-right: 10px;">★：緑点滅、●：橙点滅、×：消灯</div>  </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;"></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>節電</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	運転	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★	便座	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×	節電	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																			
運転	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																			
便座	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																			
節電	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																			
9	ウォシュレット本体に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 <div style="margin-top: 10px; display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> コードラベル 例 リモコンコード特1 この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。 </div>  </div>																																												

- ◆ ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
- ◆ 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 （内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

【参考】

■ 下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

- ① リモコン  を10秒間押す
- ② リモコンランプ全点滅
- ③ リモコン「水勢  」+「水勢  」を同時押す
- ④ ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順8』の表に従って点滅します。）
- ⑤ リモコン  を押す